

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	合併後の地域が活きる「市民力・コア機能」創生事業	
対象地域	千葉県南房総市全域	
対象地域の概要	 【位置図】 【閑散とした支所の状況】 【地域づくりへの芽生え ワークショップの様子】	
提案内容の概要	市民の力を連携・集約し、地域課題を解決する機能を持つプラットフォーム「(仮称) 地域コアセンター」を旧町村単位で設置し、新しい市民の拠り所とする。「新たな公」としての役割を担う NPO 等が連携した自治組織「(仮称) 地域づくり協議会」がコアセンターを動かす「エンジン」となり、持続可能な地域運営を目指す。	
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	〈合併後の不安解消は「新しい市民の場所づくり」から〉 南房総市は、市民と協働によるまちづくりのための施策を打ち出す一方で、厳しい財政状況の中で市の将来構想に取り組んでいくためには、集中と選択による行財政改革を進めざるを得ない状況に追い込まれている。公共施設の再編においては重複する施設と機能の集約を進めている中で、事務事業については行政と市民が役割分担をし、市民力でサービスの提供手法の方策を創成することが昨年度の調査研究から重点課題として浮き彫りになった。また、合併後の市民は、縮小する支所や公共施設、集約化される事業などにより、今後の地域の賑わいやコミュニティ、地域の特色に対する誇りなど、地域活力の低下に不安を感じている。「小さくとも、地域住民が集まり、力を寄せ合い、地域の特性を活かせる新たな仕組みが欲しいと願っている。」状況にある。 〈「新しい市民の場」を動かすエンジンを「新たな公」で!〉 そこで、市民の力を連携・集約して地域活力を向上させ、様々な地域課題を(仮称)地域づくり協議会で解決していくためのプラットフォーム「(仮称) 地域コアセンター」を設置し、新しい市民の拠り所とする。地域づくり協議会が「新たな公」としての役割を担い、地域コアセンターを動かす「エンジン」となることにより、市民が地域自治意識を深め、自らの課題に自ら取組、解決することが可能となる。本事業では、地域づくり協議会がエンジンとなる役割を担うための仕組みづくりの実践・研究を行い、自主的で主体性のある地域づくりを目指すものである。 〈平成20年度調査研究の取組からの課題〉 昨年度の取組から、地域に必要な機能は、「地域の安心感」「生きがい」「地域のにぎわい」であることが見えてきた。その機能を地域コアセンターに搭載し、動かす「エンジン」の役割と旧町村役場と地域で培ってきた地域運営機能の再生を図るため、多様な主体で構成する地域づくり協議会を旧町村単位に設置の必要があることが分かった。本年度は、対象地域が広範囲であることを踏まえ、地域コア施設の検討を進めている和田地区と、市民の活動が盛んで、地域づくりの気運が高まっている白浜地区の2地域でモデル的にスタートさせ、動きの中から見えてくる課題解決や改善策を検討し、地域づくり協議会の制度設計を確立していく。地域づくり協議会の設立にあたっては、昨年度実施したワークショップが、地域住民の合意形成に有効な手法であるといじだされたものの、ファシリテータなどの専門家の確保、養成が課題となった。	
(2) 活動内容の案	活動①：白浜地区・和田地区の地域づくり協議会設立支援と制度設計の確立 白浜地区、和田地区でモデル的にスタートする地域づくり協議会の設立支援として、設立準備会で行われるワークショップにおいて地域課題の気づきと中立的な見地から課題の解決を行うファシリテータ、全体的な協議会運営を導くアドバイザーの配置など人的支援を行う。新たな地域づくり研究協議会は、それらの活動を通して他地域での地域づくり協議会の設立を目指し、制度設計の確立を図っていく。地域にとって必要な社会サービスのあり方を研究し、地域づくり協議会が果たすことのできる役割を探	

	る。
	活動②：地域づくり協議会活動報告会の開催 白浜地区、和田地区の地域づくり協議会の活動報告会を公開形式で開催する。また、専門家によるこれまでの活動の検証と評価も併せて行う。報告会は、各地域住民に広く周知を図るとともに地域で活動する団体の活動の発表、情報発信の場としても活用し、地域づくり協議会の地域への認知度を図る。
	活動③：地域コアセンター機能発掘事業（実証実験） 和田支所周辺公共施設に市民によるサロンの設置を行い、市民の「拠り所」を開設する。開設者は福祉等地域活動を行うボランティア組織（なごみ）を想定し、支所や公民館を利用する地域住民に対し、サービスを行う。期間は2ヵ月半程度、週5日、5時間程度の開設とし、サロンというフリースペースで既存の読み聞かせのボランティア、公民館文化サークル等の活動・発表を可能にし、市民が創り出す賑わいとコミュニティビジネスの可能性を探る。また、その場で地域コアセンターの機能拡充に向けた市民ニーズも同時に把握する。
	活動④：地域づくり協議会会員創出事業（実証実験） 白浜地区において、地域づくり協議会の実践活動を通じた会員の創出を行う。地域内の団体、個人を募り、地域課題である定住促進をキーワードにモニターツアーの企画・運営に携わることで協議会への理解を深めてもらうとともに、参画を促す。9月から2月までの間に南房総の代表的な花卉である「金盞花」の播種から花摘みまでの花づくり体験を核とし、ハイキングコースの整備を行っている団体（城山登山道を活かす会）や、地域案内を行っているグループ（金盞花レディース）などと連携して3回程度の受け入れを行う。その際に地域活動、地域づくりに興味のある移住者にも移住体験を話してもらうことで事業に係わってもらい協議会員へとつなげる。
応募団体名	南房総市新たな地域づくり研究協議会
リンク	
部局／担当者名	企画部企画政策課市民協働推進室 座間 好雄
連絡先	0470-33-1005
推薦市町村名	南房総市